

# 先端医療棟が完成しました



## 目的

- 1 高度ながん医療・救命救急医療の提供
- 2 東日本大震災を教訓に、緊急時医療体制の充実強化

## 『先端医療棟』整備のコンセプト

### ◆国内最高水準、最先端の総合的ながん医療・救命救急医療等を提供

- 1 最新鋭のがん検査・治療機器の導入でがんを早期発見・治療  
MRI：最新3テスラで従来比2倍の高画質・高精細画像  
C T：最新機器（384スライス）で従来比1/30の時間で撮影  
このほか、新棟整備と併せ、中央病棟に最新の高精度ながん放射線治療（回転IMRT）機器を導入
- 2 内視鏡室や手術室の拡大・増設により、最新治療方法や次世代の低侵襲手術を実現  
ロボット手術：術部を30倍まで拡大し、540度回転の可動域をもつロボットアームにより、人間よりも繊細で安全な手術が可能  
ハイブリッド手術：3次元画像で外科手術と内科的治療を同時に実施  
→開腹手術に比べ安全で痛みが少なく、入院期間短縮。早期に社会復帰
- 3 検査や治療の待ち時間を大きく短縮  
CT、MRI検査数は従来の1.5倍となるため、がんで紹介された患者さんの病気の広がりのためのCTは初診当日に実施  
救急患者さんのCT、MRI検査は、連絡を受けてから20分以内の開始を目標
- 4 ドクターヘリの導入に合わせ、高度救急医療体制を充実・強化  
高度集中治療センターの一部を「特定集中治療室」\*とし、重症外傷（高エネルギー外傷）患者等に対応  
\*いわゆる「スーパーICU」/診療体制：集中治療専門医を配置。2対1看護。臨床工学技士が常勤

### ◆大災害時や新型インフルエンザ等のパンデミック期に緊急対応できるよう整備

## 『先端医療棟』の概要

1. 建設地 中央診療棟北側
2. 構造 鉄骨造（柱 コンクリート充填鋼管造（CFT造））地上4階建
3. 面積 延床面積 約7,500㎡
4. 事業費 建設費 約43億円、医療機器 約34億円
5. 竣工・稼働 平成28年9月

## 『先端医療棟』の構成

### 4階 低侵襲手術センター



がん患者等に身体的負担の少ない鏡視下手術やロボット手術、ハイブリッド手術など先進的な手術を実施  
(左)ハイブリッド手術室  
(右)手術支援ロボット「ダヴィンチ」

### 3階 高度集中治療センター



高度な生命維持装置を備えた特定集中治療室（スーパーICU：6床）と、救急患者を収容する救命救急治療室（ECU：11床）で、強力かつ集中的に重症患者の治療・看護を実施  
大規模災害時に対応する緊急対応病室を設置

特定集中治療室（スーパーICU）

### 2階 内視鏡センター



食道・胃・大腸がん等の早期がんに対して、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）など最新の内視鏡治療を実施

内視鏡室

### 1階 高度画像診断センター



がん等の診断を最先端のMRI・CT等の高度検査機器による精密診断で早期発見を実施

MRI（3テスラ）